

表1 ふれあい銭湯の日 実施銭湯

施設名	住所	電話
アサヒ湯	東3南14	☎24・1933
オベリベリ温泉 水光園	東10南5	☎23・4700
光南温泉	東2南19	☎23・7353
天然の湯 自由ヶ丘温泉	自由が丘4	☎35・1126
天然温泉 たぬきの里	西5南15	☎21・2683
朋の湯温泉	西11南15	☎24・1238
ひまわり温泉 森の郷	西11南32	☎48・4238
ローマノ福の湯	東9南12	☎22・0456
白樺温泉 (高齢者の日未実施)	白樺16西12	☎36・2821
やよい乃湯 (高齢者の日未実施)	西18南2	☎66・4126

営業(受付)時間は、各銭湯に問い合わせください。
住所と年齢が確認できるものを、入浴前に銭湯の受付へ提示してください。入浴後に提示しても対応できない場合があります。

表2 ふれあい銭湯(高齢者)の日

4月26日(水)	5月24日(水)	6月28日(水)	7月26日(水)
8月23日(水)	9月*	10月25日(水)	11月22日(水)
12月27日(水)	1月24日(水)	2月*	3月27日(水)

※9月と2月は、北海道が行う銭湯がお得に利用できる制度があります。実施日や実施銭湯は市の制度と異なるので、事前に各銭湯へ問い合わせください。



銭湯で 心も体も健康に

ふれあい銭湯の日

問い合わせ 健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720)



市ホームページID.1004916

銭湯を利用し、家族や地域の皆さんとの絆を深めてもらおうと、市内の各銭湯では、15歳以下の子どもや65歳以上の人を対象に、入浴料がお得な「ふれあい銭湯の日」を実施しています。(表1・2)

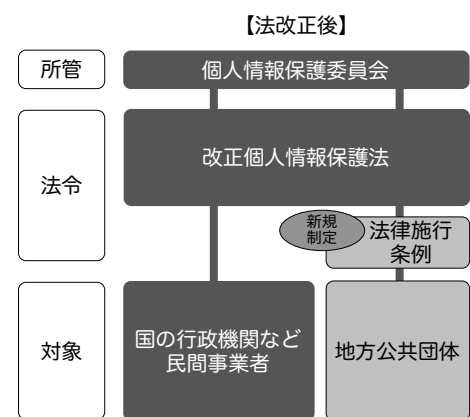
ふれあい銭湯(高齢者)の日

詳細は、総合案内(市庁舎1階)や保健福祉センター、各コミセンに設置するチラシのほか、市ホームページを確認してください。

ふれあい銭湯(子ども)の日

同居する保護者(父母・祖母)同伴の15歳以下の子どもが無料(保護者は通常料金)で入浴できます。

対象者 市内在住の15歳以下の人
実施日 9月と2月を除く毎月第4水曜日(表2)
持ち物 住所と年齢が確認できるもの



「個人情報の保護に関する法律」が改正され、地方公共団体の個人情報保護制度は、令和5年4月1日から改正後の法律に基づく全国的な共通ルールが適用されることとなりました。

このような制度に移りました

個人情報保護制度とは、個人情報の適正な取り扱いを確保し、個人の権利利益を保護することを目的とした制度です。

個人情報保護制度とは

帯広市では、平成8年4月1日に「帯広市個人情報保護条例」を施行し、個人情報保護制度を運用してきました。

問い合わせ 総務課(市庁舎5階、☎65・4101)



個人情報保護制度が 条例から法律に移行

適正な個人情報の保護に向けて

これに伴い、帯広市では、現行ルールである「帯広市個人情報保護条例」を廃止し、新たに個人情報の保護に関する法律の施行に必要な事項を定める「帯広市個人情報の保護に関する法律施行条例」を制定しました。

新たに制定した条例の主な内容

◆個人情報の開示決定等の期限

法律では、開示請求があった日から30日以内としています。帯広市ではこれまで通り、原則15日以内とします。

◆開示請求の手数料

帯広市ではこれまで通り、開示請求の際の手数料を無料とし、保有個人情報の写しの交付に要する実費相当の費用は開示請求者の負担とします。

適正な個人情報の保護に向けて

個人情報保護制度の運用は、法律に基づく運用に変わりましたが、個人情報に関する市民の権利の保障や、個人の権利利益を保護する基本的な考え方は変わりません。引き続き適切な個人情報管理に努めます。



市ホームページ ID.1004309

市長コラム

夢かなうまち おびひろ

関係性

帯広市長 米沢 則寿



持続を目指した世界共通の目標「SDGs」。17の目標の中には、経済成長と環境保護など、一見相矛盾する目標もありますが、SDGsは、どれか一つの目標を達成するのではなく、それぞれが節度や配慮を持ちながら、互いの関係をバランス良く両立させることで、全体として持続可能な新しい社会をつくっていくことを目指しています。

ポストコロナの時代では、人と人、企業と企業などが接点を持つことで新しいものが生まれる、いわば「実態」が生まれる関係性のもとよりですが、相手の都合も考えながら、ともに向上していく「協調・連携」の姿勢が、より大切になってきていると感じています。十勝19市町村で取り組んできた「フードバレーとかち」も、それぞれのまちの強みを生かし、域外の企業とも連携することで、新しい価値をつくり地域全体の活性化につなげていく考えです。

また、この地域では、起業・創業を目指す人と国内外で活躍する経営者との触発により、今までにない事業を発想し、チャレンジする人材育成にも継続して取り組んでいきます。

さらに最近では、この地域に魅力を感じるファンの視点を地元企業の商品開発などに生かす試みや、首都圏の企業に勤める人たちが帯広のまちなかの事業者が集まり、これからの中心市街地について考える動きも活発化しています。

お互いの温もりを感じられるような、暖かく多様な関係性があるまちは、コロナ後においてもポジティブな人たちが集まり、明るい未来を拓いていけると考えます。